

乳腺・内分泌外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	Real time Virtual Sonography(RVS)を用いた術前マーキングと断端陽性率減少との相関について
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	乳腺・内分泌外科
研究責任者	乳腺・内分泌外科 教授 中野正吾
研究の意義・目的	乳腺部分切除における断端陽性率減少を目的としています。
対象となる患者さん	2011年から2015年までに乳癌と診断された患者さん
研究の方法	該当期間に乳癌で乳房部分切除術を行われた患者さんで、術前マーキングにおいて、RVSを用いた患者さんと超音波単独で行った患者さんの術後病理結果を検討し、RVSを用いた術前マーキングが断端陽性となる確率を減らせたかどうか検討します。 研究計画書を閲覧希望の患者さんは当科医局までお申し出ください。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2022年4月30日
個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>免疫染色標本をはじめとした病理学的情報などの本研究への利用を拒否される方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。しかし、本研究では、2017年8月1日以降は、患者さんの個人が特定できる情報と切り離した上で研究を行うため、この日以降に患者さんから情報の利用を拒否する申し出があっても、患者さんの情報を探し出すことができませんのでご注意ください。</p>
その他	
問い合わせ先	<p>愛知医科大学病院</p> <p>乳腺・内分泌外科</p> <p>担当者：教授 中野正吾</p> <p>電話 0561-62-3311（内線）77794</p>